

製品安全データシート

Styrallyl Acetate

作成 : 2023/10/30
改訂 :

● 項目1 化学品及び会社情報

化学品の名称	1-フェニルエチル=アセタート
会社名	Eternis Fine Chemicals Ltd.
住所	1004, Peninsula Towers, 10 th Floor, Peninsula Corporate Park, G.K. Marg, Lower Parel, Mumbai-400013, India
担当部署	
担当者(作成者)	Salomi Samuel
電話番号	+91-22-66513400
FAX番号	
メールアドレス	sales@eternis.com regulatory@eternis.com
緊急連絡先番号	0120-015-230
販売代理店	サンケミカル株式会社
住所	東京都中央区日本橋小伝馬町2番4号 三報ビルディング
電話番号	03-3661-6681
FAX	03-3661-7055
メールアドレス	yano@sun-chemical.co.jp
HP	http://www.sun-chemical.co.jp/

推奨用途及び使用上の注意

香料原料

★ 項目2 危険有害性の要約

GHSの分類

物理化学的危険性:

引火性液体 区分4 H227

健康に対する有害性:

環境に対する有害性:

水生環境有害性 短期(急性) 区分4 H402

分類	内容
区分1~4	数字が小さい方が危険・有害性が高い。1(危険)>4(比較的安全)
区分に該当しない	数字で表示される区分より安全性が高い。
分類できない	分類に有効なデータが無く、有害なのか安全なのか、分からない。
分類対象外	この項目には無関係な製品。例えば、固体の製品では「自然発火性液体」の項目で、分類対象外になる。

● GHSのラベル要素

● 絵表示又はシンボル 無し

● 注意喚起語 警告

● 危険有害性情報

H227	引火性液体
H402	水生生物に有害

● 注意書き

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。

P210 熱、裸火、火花から遠ざけて保管すること。
P280 眼、顔、手の保護具を着用すること。
P370+378 火災の発生時、炭酸ガスや泡消火剤をしようすること。
P403+235 換気のよい涼しい場所で保管すること。
P501 容器と残渣物を産業廃棄物処理業者に委託して処分すること。

【応急措置】

吸入した場合 吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、吸入した場合、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚に付着した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続け、眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。

【保管】

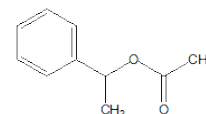
換気のよい涼しくひの当たらない場所に密閉保管すること。
受け入れ場所で容器に接地処置をすること。
耐防爆の電気、換気設備を備えていること。
発火しない器具を用いること。
静電気対策を講じること。

【廃棄】

法令条例に従い、産業廃棄物業者に委託して廃棄処分すること。
環境に放出しないこと。
空になった容器は可能ならリサイクルする。

項目3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	工業純品
化学名又は一般名	1-フェニルエチル=アセタート
慣用名・別名	
化学物質を特定できる一般的な番号	
CAS番号	93-92-5
成分及び濃度又は濃度範囲(含有率)	100
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	3-1045、3-1062、3-1040
GHS分類に寄与する成分	



▲ 項目4 応急処置

吸入した場合 吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
吸入した場合、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚に付着した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
詳細な徴候及び症状は、項目11－有害性情報に記載する

応急処置をする者の保護

医師に対する特別な注意事項

毒劇物の場合、解毒剤

項目5 火災時の措置

消火剤 泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス

使ってはならない消火剤 データ無し

火災時の措置に関する
特有の危険有害性 燃焼時、一酸化炭素と有機化合物が形成される。

特有の消火方法 爆発の可能性があるため、壁に隠れて消防を行うこと。
熱を持っている場合、荷物を移動させないこと。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。

消火を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋
安全グラス
保護具
熱や火災にさらされている場合、呼吸機器を身に着けること。

項目6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 吸入を避けること。皮膚、眼の接触を避けること。

環境に対する注意事項 環境に排出しないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 熱源、火、火花を近づけない。
蒸気の吸入を避けること。
砂や不活性粉w使用して直ぐに掬い取ること。
法令条例に従い廃棄処分すること。

二次災害の防止策

▲ 項目7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策
(局所排気、全体換気) 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、
保護具を着用する。
「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。

安全取扱注意事項 個人用保護具を着用する。
産業衛生に従って使用すること。
換気のよい場所で取り扱うこと。
取扱い場所での禁止(飲食、喫煙)

接触回避		「10. 安定性及び反応性」を参照。
衛生対策		厳しく監視すること。容器は密閉すること。汚染された衣類は直ぐに脱ぐこと。廃棄物を下水に流さないこと。
保管	安全な保管条件	換気のよい涼しくひの当たらない場所に密閉保管すること。 受け入れ場所で容器に接地処置をすること。 耐防爆の電気、換気設備を備えていること。 発火しない器具を用いること。 静電気対策を講ずること。
	近づけてはいけないもの	火、熱、
	安全な保管保管包装材料	元の容器

▲ 項目8 暴露防止及び保護措置

許容濃度等

日本産業衛生学会(2005年版)	未設定
ACGIH(2005年)	未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。または換気を行うこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

アース線の接地を行うこと。裸火、熱に近づけない事。水を含んだ物質を近づけないこと。引火点よりも温度が高い場合、耐火、耐爆発の設備を使用すること。粒子状の場合、耐火、耐爆発の設備を使用すること。呼吸器官を保護、もしくは局所、全体換気の管理で作業を行うこと。厳格な衛生管理の下で作業し、容器は密閉し、作業中の飲食と喫煙は避けること。

保護具

呼吸用保護具	ガス蒸気の濃度が高い際、ガスマスクを着用する事。
手の保護具	化学品用の保護具
眼の保護具	面の保護具
皮膚及び身体の保護具	防護服

特別な注意事項

項目9 物理的及び化学的性質

物理的状态	液体
色	無色
臭い	フルーツ臭
融点・凝固点	データ無し
沸点又は初留点及び沸騰範囲	225°C
可燃性	可燃性液体
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データ無し
引火点	92.5°C
自然発火点	データ無し
分解温度	データ無し
pH	7.1~8.1
動粘性率	データ無し
溶解度	水 1270mg/L @20°C
n-オクタノール/水分配係数(Log値)	2.5 log Pow
蒸気圧	5.5 Pa@20°C
密度及び/又は相対密度	1.028 g/cm ³ @20°C
相対ガス密度	データ無し

粒子特性

その他のデータ

● 項目10 安定性及び反応性

反応性	物質自体と水での接触では反応性はない。
化学的安定性	通常は安定。
危険有害反応可能性	通常の使用状況ではない。
避けるべき条件 (静電放電、衝撃、振動など)	裸火、熱に近づけない事。水を含んだ物質を近づけない事。 引火点よりも温度が高い場合、耐火、耐爆発の設備を使用する事。 粒子状の場合、耐火、耐爆発の設備を使用する事。
混触危険物質	火、熱、可燃物、酸化剤、塩基
危険有害な分解生成物 その他	燃えた場合、一酸化炭素と有機化合物を発生させる。

★ 項目11 有害情報

急性毒性

曝露経路	基準	方法	値	曝露時間	被検体	雌雄	値の決定
経口	LD50		> 5,000mg/kg				
経皮	LD50		> 8,000mg/kg		ラット		
吸入	LD50		データ無し		ラビット		

皮膚腐食性/皮膚刺激性
利用可能なデータでは、分類基準を満たしていない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
利用可能なデータでは、分類基準を満たしていない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性
ヒト感作性試験で感作性なし

生殖細胞変異原性
利用可能なデータでは、分類基準を満たしていない。

発がん性
利用可能なデータでは、分類基準を満たしていない。

生殖毒性
利用可能なデータでは、分類基準を満たしていない。

特定標的臓器毒性、単回曝露
利用可能なデータでは、分類基準を満たしていない。

特定標的臓器毒性、反復曝露
利用可能なデータでは、分類基準を満たしていない。

誤嚥有害性
データ無し

その他

項目12 環境毒性情報

生態毒性

	基準	方法	値	期間	被検体	試験設計	淡水/塩水	値の決定
急性毒性 魚	LC50		21mg/L	96H	魚			
急性毒性 無脊椎動物	EC50		729mg/L		バクテリア			
長期毒性 藻、	LC50		65mg/L	24H	藻			

残留性・分解性

OECD ガイドライン 301F 28日
容易に分解する

生態蓄積性

Partition coefficient n-octanol /water (log Kow): 2.5

土壤中の移動性

吸着係数 Log Koc 20°C: 2.41

オゾン層への有害性

他の有害影響

▲ 項目13 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい破棄、又はリサイクルに関する情報

法令条例に従い、産業廃棄物業者に委託して廃棄処分すること。
環境に放出しないこと。
空になった容器は可能ならリサイクルする。

項目14 輸送上の注意

国際規制
国連番号 非該当
品名(国連輸送名) 非該当

国連分類 非該当
(輸送における危険有害性クラス)

容器等級 非該当
海洋汚染物質 非該当
(該当・非該当)

MARPOL73/78附属書Ⅱ及び
IBCコードによるばら積み輸送される液体物質 非該当
(該当・非該当)

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

国内規制がある場合の規制情報

その他
応急措置指針番号

非該当

項目15 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化管法	非該当
安衛法	通知・表示対象物質 非該当
毒劇法	非該当
火薬類取締法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
消防法	消防法 第2条危険物第4類第3石油類非水溶性液体(2,000L)
化審法	既存化学物質
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
外為法	キャッチオール規制

その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

項目16 その他の情報

安全上重要であるが、これまでの項目名に直接関係しない情報

引用文献

オリジナルMSDS

その他

注意:

- ・危険有害性の評価はかならずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・この製品安全データシートは、当社の製品を適切にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常取扱いを対象としたものです。
- ・本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保障もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

2019年改正JIS Z7252/Z7253

★	リスクアセスメント必須事項
●	ラベルに記載する情報
▲	安衛法ラベルの注意書きの項目 (但し、ラベルに全て載せる必要はない)